

LM・ユーロ 毎月分配型ファンド

運用報告書（全体版）

第184期	決算日	2017年12月18日
第185期	決算日	2018年1月18日
第186期	決算日	2018年2月19日
第187期	決算日	2018年3月19日
第188期	決算日	2018年4月18日
第189期	決算日	2018年5月18日

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	主としてユーロ建て債券に投資し、ユーロ短期金利を上回るインカムゲインを獲得することにより、ユーロ短期金利水準の分配を毎月行い、ユーロ原資産元本の安定した運用成果を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド	主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券および資産担保証券等を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎月18日、休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「LM・ユーロ毎月分配型ファンド」は、2018年5月18日に第189期の決算を行いましたので、第184期、第185期、第186期、第187期、第188期、第189期の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当報告書に関するお問い合わせ先：

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

お問い合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

<http://www.leggmason.co.jp>

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	標準価額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 騰 落					
	円	円	%	%	%	%	百万円		
160期(2015年12月18日)	7,198	20	1.1	92.7	△4.2		2,816		
161期(2016年1月18日)	6,906	20	△3.8	94.7	△4.3		2,646		
162期(2016年2月18日)	6,839	20	△0.7	94.6	△4.4		2,574		
163期(2016年3月18日)	6,759	20	△0.9	96.5	△4.0		2,511		
164期(2016年4月18日)	6,539	20	△3.0	95.5	△4.1		2,379		
165期(2016年5月18日)	6,575	20	0.9	97.1	△4.2		2,358		
166期(2016年6月20日)	6,332	20	△3.4	98.4	△3.7		2,240		
167期(2016年7月19日)	6,228	20	△1.3	97.3	△3.8		2,166		
168期(2016年8月18日)	5,968	20	△3.9	99.1	△3.9		2,049		
169期(2016年9月20日)	6,008	20	1.0	98.3	△4.0		2,039		
170期(2016年10月18日)	6,008	20	0.3	97.7	△4.0		2,001		
171期(2016年11月18日)	6,123	20	2.2	89.0	△4.1		2,015		
172期(2016年12月19日)	6,417	20	5.1	96.3	△3.6		2,064		
173期(2017年1月18日)	6,277	20	△1.9	92.6	△3.7		1,989		
174期(2017年2月20日)	6,211	20	△0.7	97.5	△3.7		1,953		
175期(2017年3月21日)	6,251	20	1.0	98.6	△3.2		1,910		
176期(2017年4月18日)	5,982	20	△4.0	97.5	△8.5		1,810		
177期(2017年5月18日)	6,358	20	6.6	104.8	△8.7		1,890		
178期(2017年6月19日)	6,349	20	0.2	98.5	△8.1		1,855		
179期(2017年7月18日)	6,580	20	4.0	88.6	△7.4		2,131		
180期(2017年8月18日)	6,520	20	△0.6	94.1	△30.4		2,927		
181期(2017年9月19日)	6,747	20	3.8	95.0	△40.7		3,255		
182期(2017年10月18日)	6,662	20	△1.0	71.3	△32.4		4,099		
183期(2017年11月20日)	6,622	20	△0.3	83.5	△41.2		5,561		
184期(2017年12月18日)	6,638	20	0.5	97.6	△60.8		5,926		
185期(2018年1月18日)	6,773	20	2.3	92.4	△60.2		6,122		
186期(2018年2月19日)	6,574	20	△2.6	95.9	△64.1		5,594		
187期(2018年3月19日)	6,438	20	△1.8	95.7	△64.1		5,514		
188期(2018年4月18日)	6,541	20	1.9	95.7	△64.2		5,623		
189期(2018年5月18日)	6,436	20	△1.3	95.6	△64.2		5,556		

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注4) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
			円	%		
第184期	(期 首) 2017年11月20日	6,622	—	—	83.5	△41.2
	11月末	6,672	0.8	—	94.1	△56.0
	(期 末) 2017年12月18日	6,658	0.5	—	97.6	△60.8
第185期	(期 首) 2017年12月18日	6,638	—	—	97.6	△60.8
	12月末	6,751	1.7	—	92.5	△60.3
	(期 末) 2018年1月18日	6,793	2.3	—	92.4	△60.2
第186期	(期 首) 2018年1月18日	6,773	—	—	92.4	△60.2
	1月末	6,744	△0.4	—	96.4	△62.8
	(期 末) 2018年2月19日	6,594	△2.6	—	95.9	△64.1
第187期	(期 首) 2018年2月19日	6,574	—	—	95.9	△64.1
	2月末	6,532	△0.6	—	95.4	△63.7
	(期 末) 2018年3月19日	6,458	△1.8	—	95.7	△64.1
第188期	(期 首) 2018年3月19日	6,438	—	—	95.7	△64.1
	3月末	6,456	0.3	—	95.7	△64.2
	(期 末) 2018年4月18日	6,561	1.9	—	95.7	△64.2
第189期	(期 首) 2018年4月18日	6,541	—	—	95.7	△64.2
	4月末	6,531	△0.2	—	95.8	△64.2
	(期 末) 2018年5月18日	6,456	△1.3	—	95.6	△64.2

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

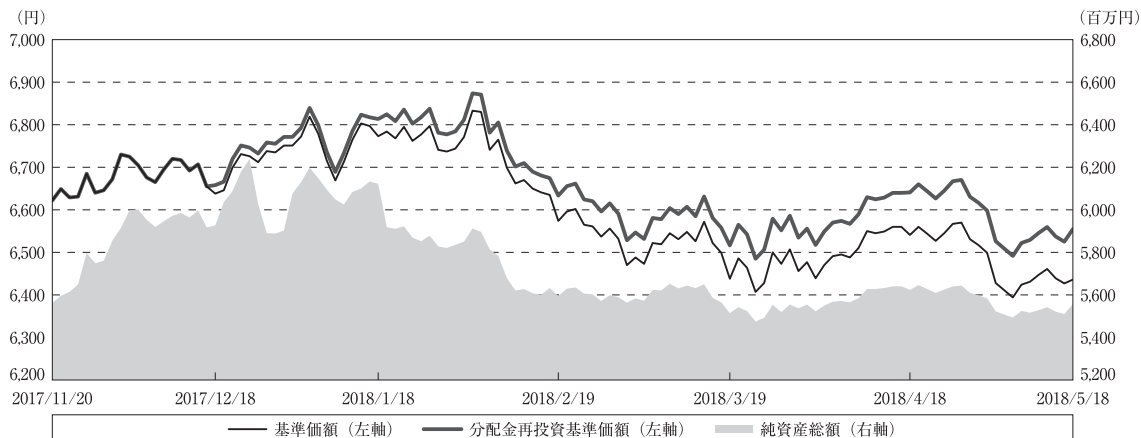
(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2017年11月21日～2018年5月18日)



第184期首：6,622円

第189期末：6,436円 (既払分配金(税込み):120円)

騰落率：△ 1.0% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2017年11月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当作成期末(2018年5月18日)のLM・ユーロ毎月分配型ファンド(以下、当ファンド)の基準価額(分配金控除後)は6,436円となりました。当作成期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はマイナス1.0%(分配金再投資ベース)、基準価額は66円(分配金込み)下落しました。

公社債利金を手堅く確保しました。一方、ユーロ安・円高を受けて為替損益はマイナスとなりました。公社債損益についてもマイナスとなりました。

当作成期の欧州債券市場は、利回りが上昇（価格は下落）しました。期の前半は、ドイツ財務省が2018年の国債発行増加の方針を発表したことから、利回りは上昇しました。さらに、欧州中央銀行（ECB）の理事会議事要旨（2017年12月開催分）で2018年の早い時期にフォワード・ガイダンス（金融政策の先行き方針）を見直す可能性が議論されていたことが判明し、市場が見込んでいたよりもタカ派的な内容と受け止められたことから、利回りは上昇傾向となりました。期の半ばは、ECBによる金融政策の正常化が進むとの観測が広がったことなどから、利回りは上昇しました。しかし、その後は、欧州の経済指標が総じて軟調となったことや、ドラギECB総裁が理事会後の会見で物価見通しに慎重な姿勢を示したことなどをを受け、利回りは低下（価格は上昇）しました。期の後半は、やや方向感に欠ける展開となりましたが、当作成期末にかけては、米国国債利回りが上昇傾向となったことに連れて欧州の国債利回りも上昇しました。

社債セクターは、軟調となりました。ドイツの国債利回りが上昇する中、社債利回りは上昇し、社債スプレッド（国債に対する上乘せ利回り）についても拡大しました。

資産担保証券（ABS）／モーゲージ証券（MBS）市場については、底堅く推移しました。利回りは前作成期末比で上昇しましたが、スプレッドは若干の縮小となりました。

当作成期のユーロ・円相場は、ユーロ安・円高となりました。期の前半は、ドイツ財務省が2018年の国債発行増加の方針を発表し、独国債利回りが上昇した影響などから、ユーロは対円で上昇しました。その後も、ECBが2018年の早い時期にフォワード・ガイダンスを見直す可能性が議論されていたことが判明したことから、ユーロは対主要通貨で上昇し、対円でも買いが優勢となりました。期の半ばは、ECBによる金融政策の正常化が進むとの観測が広がったことなどから、ユーロは対円で上値を探る展開となりました。しかし、その後は、欧州の経済指標が総じて軟調となったことや、ドラギECB総裁が理事会後の会見で物価見通しに慎重な姿勢を示したことなどをを受け、ユーロ売り・円買いが優勢となりました。期の後半は、ECBの金融政策を巡る市場の思惑などに左右される展開となり、ユーロは対円で概ねレンジ内での推移となりました。



当ファンドは、主に「LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行い、ユーロ短期金利水準に連動した安定的収益の確保を目指した運用に努めてまいりました。また、原則としてBBB-/Baa3格以上の格付けの公社債へ投資し、ファンドに組入れる債券の平均格付をA-/A3格以上に保ち信用リスクの抑制を図る等、安定的な運用を目指しております。当ファンドの基準価額は、組入債券がユーロ建てで為替ヘッジを行わないため、ユーロ・円相場の変動の影響をそのまま反映しますが、ユーロベースの原資産は金利リスク（債券利回りの変動の影響を受けて、債券価格が変動するリスク）の低減に努め、安定性を重視した運用を行っております。当作成期の運用においては、引き続き高格付債券への投資比率を高位に保ちました。

分配金

(2017年11月21日～2018年5月18日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第184期	第185期	第186期	第187期	第188期	第189期
	2017年11月21日～ 2017年12月18日	2017年12月19日～ 2018年1月18日	2018年1月19日～ 2018年2月19日	2018年2月20日～ 2018年3月19日	2018年3月20日～ 2018年4月18日	2018年4月19日～ 2018年5月18日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 0.300%	20 0.294%	20 0.303%	20 0.310%	20 0.305%	20 0.310%
当期の収益	2	4	1	1	3	12
当期の収益以外	17	15	18	18	16	7
翌期繰越分配対象額	1,052	1,036	1,018	999	983	976

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
 (注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンドは、主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行うファンドです。今後も引き続き、組入債券の信用リスク、金利リスクに配慮しつつ銘柄を厳選し、運用に注力していく所存です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年11月21日～2018年5月18日)

項 目	第184期～第189期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 14	% 0.212	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(6)	(0.095)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(6)	(0.095)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.021)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.003	(b)売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数
（ 先 物 ・ オ プ シ ョ ン ）	(0)	(0.003)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	1	0.019	(c)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 等 費 用 ）	(1)	(0.010)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
合 計	15	0.234	
作成期間の平均基準価額は、6,614円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年11月21日～2018年5月18日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第184期～第189期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド		1,476,428	2,161,041	1,447,969	2,128,040

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2017年11月21日～2018年5月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2017年11月21日～2018年5月18日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2017年11月21日～2018年5月18日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2018年5月18日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第183期末	第189期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド		3,861,715	3,890,174	5,576,176

(注) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2018年5月18日現在)

項 目	第189期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド	5,576,176	100.0
コール・ローン等、その他	2,405	0.0
投資信託財産総額	5,578,581	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(5,645,699千円)の投資信託財産総額(5,735,015千円)に対する比率は98.4%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、5月18日における邦貨換算レートは、1ユーロ=130.93円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第184期末	第185期末	第186期末	第187期末	第188期末	第189期末
	2017年12月18日現在	2018年1月18日現在	2018年2月19日現在	2018年3月19日現在	2018年4月18日現在	2018年5月18日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	6,075,148,543	6,145,291,089	5,614,705,900	5,533,711,086	5,643,452,456	5,578,581,382
LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド(評価額)	5,946,186,341	6,142,756,194	5,613,501,394	5,533,121,766	5,642,926,735	5,576,176,217
未収入金	128,962,202	2,534,895	1,204,506	589,320	525,721	2,405,165
(B) 負債	148,889,923	22,974,037	20,535,459	19,676,794	19,820,136	21,774,506
未払収益分配金	17,855,576	18,078,764	17,018,899	17,128,664	17,194,616	17,268,405
未払解約金	128,962,202	2,534,895	1,204,506	589,320	525,721	2,405,165
未払信託報酬	1,936,521	2,233,607	2,195,852	1,857,194	1,973,824	1,980,400
その他未払費用	135,624	126,771	116,202	101,616	125,975	120,536
(C) 純資産総額(A-B)	5,926,258,620	6,122,317,052	5,594,170,441	5,514,034,292	5,623,632,320	5,556,806,876
元本	8,927,788,237	9,039,382,194	8,509,449,915	8,564,332,167	8,597,308,002	8,634,202,541
次期繰越損益金	△3,001,529,617	△2,917,065,142	△2,915,279,474	△3,050,297,875	△2,973,675,682	△3,077,395,665
(D) 受益権総口数	8,927,788,237口	9,039,382,194口	8,509,449,915口	8,564,332,167口	8,597,308,002口	8,634,202,541口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,638円	6,773円	6,574円	6,438円	6,541円	6,436円

<注記事項>

(注1) 元本の状況

当作成期首元本額 8,397,830,616円

当作成期中追加設定元本額 3,233,824,547円

当作成期中一部解約元本額 2,997,452,622円

(注2) 元本の欠損

純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,077,395,665円であります。

○損益の状況

項 目	第184期	第185期	第186期	第187期	第188期	第189期
	2017年11月21日～ 2017年12月18日	2017年12月19日～ 2018年1月18日	2018年1月19日～ 2018年2月19日	2018年2月20日～ 2018年3月19日	2018年3月20日～ 2018年4月18日	2018年4月19日～ 2018年5月18日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	29,066,828	129,905,906	△ 148,728,044	△ 96,480,713	107,125,023	△ 70,705,589
売買益	33,688,808	141,575,886	1,099,289	252,694	108,600,877	375,389
売買損	△ 4,621,980	△ 11,669,980	△ 149,827,333	△ 96,733,407	△ 1,475,854	△ 71,080,978
(B) 信託報酬等	△ 2,072,145	△ 2,360,378	△ 2,312,054	△ 1,958,810	△ 2,099,799	△ 2,100,936
(C) 当期繰越損益金(A+B)	26,994,683	127,545,528	△ 151,040,098	△ 98,439,523	105,025,224	△ 72,806,525
(D) 前期繰越損益金	△ 445,345,596	△ 359,395,463	△ 214,259,307	△ 361,598,285	△ 457,608,571	△ 353,699,844
(E) 追加信託差損益金	△ 2,565,323,128	△ 2,667,136,443	△ 2,532,961,170	△ 2,573,131,403	△ 2,603,897,719	△ 2,633,620,891
(配当等相当額)	(954,559,182)	(951,178,353)	(882,172,259)	(872,247,191)	(859,685,941)	(849,474,563)
(売買損益相当額)	(△3,519,882,310)	(△3,618,314,796)	(△3,415,133,429)	(△3,445,378,594)	(△3,463,583,660)	(△3,483,095,454)
(F) 計(C+D+E)	△ 2,983,674,041	△ 2,898,986,378	△ 2,898,260,575	△ 3,033,169,211	△ 2,956,481,066	△ 3,060,127,260
(G) 収益分配金	△ 17,855,576	△ 18,078,764	△ 17,018,899	△ 17,128,664	△ 17,194,616	△ 17,268,405
次期繰越損益金(F+G)	△ 3,001,529,617	△ 2,917,065,142	△ 2,915,279,474	△ 3,050,297,875	△ 2,973,675,682	△ 3,077,395,665
追加信託差損益金	△ 2,580,609,495	△ 2,681,486,590	△ 2,548,540,165	△ 2,589,024,071	△ 2,617,756,954	△ 2,640,295,557
(配当等相当額)	(939,438,186)	(937,110,347)	(866,657,398)	(856,388,217)	(845,844,566)	(842,906,291)
(売買損益相当額)	(△3,520,047,681)	(△3,618,596,937)	(△3,415,197,563)	(△3,445,412,288)	(△3,463,601,520)	(△3,483,201,848)
繰越損益金	△ 420,920,122	△ 235,578,552	△ 366,739,309	△ 461,273,804	△ 355,918,728	△ 437,100,108

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の50相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	第184期	第185期	第186期	第187期	第188期	第189期
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益(費用控除後)	2,569,209	3,728,617	1,439,904	1,235,996	3,335,381	10,593,739
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	954,724,553	951,460,494	882,236,393	872,280,885	859,703,801	849,580,957
(D) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
分配対象収益額(A+B+C+D)	957,293,762	955,189,111	883,676,297	873,516,881	863,039,182	860,174,696
(1万円当たり収益分配対象額)	(1,072)	(1,056)	(1,038)	(1,019)	(1,003)	(996)
収益分配金	17,855,576	18,078,764	17,018,899	17,128,664	17,194,616	17,268,405
(1万円当たり収益分配金)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)

○分配金のお知らせ

	第184期	第185期	第186期	第187期	第188期	第189期
1万口当たり分配金(税込み)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◇分配金を再投資する場合

お手取り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金(特別分配金)にわかれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金(特別分配金)、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

<LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド>

下記は、LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド全体(3,992,692千口)の内容です。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第189期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
フランス	2,110	2,786	364,775	6.4	—	—	0.9	5.4
オランダ	5,000	5,047	660,897	11.5	—	—	—	11.5
ベルギー	800	805	105,467	1.8	—	—	1.8	—
その他	31,930	33,020	4,323,421	75.5	—	—	36.8	38.7
合 計	39,840	41,660	5,454,562	95.3	—	—	39.6	55.7

(注1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			第189期末				償還年月日
			利率	額面金額	評価額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
フランス	普通社債券 (含む投資法人債券)	CREDIT AGRICOLE SA	—	1,700	2,372	310,665	2020/2/2
		RCI BANQUE SA FRN	0.321	410	413	54,110	2021/4/12
オランダ	普通社債券 (含む投資法人債券)	COOPERATIEVE RABOBANK UA	1.75	1,000	1,013	132,738	2019/1/22
		DAIMLER FINANCE FRN	0.274	1,900	1,914	250,665	2019/11/13
		ING BANK NV	1.25	500	511	66,929	2019/12/13
		SHELL INTL FIN FRN	0.073	1,600	1,608	210,564	2019/9/15
ベルギー	普通社債券 (含む投資法人債券)	KBC GROUP NV FRN	0.222	800	805	105,467	2022/11/24
その他	普通社債券 (含む投資法人債券)	ASB FINANCE LTD	0.5	1,700	1,716	224,708	2020/6/17
		AUST & NZ BANKING GROUP	5.125	2,100	2,237	292,978	2019/9/10
		BERKSHIRE HATHAWAY	0.5	2,200	2,222	290,952	2020/3/13
		COLGATE-PALMOLIVE CO FRN	—	700	702	91,931	2019/5/14
		DANSKE BANK A/S	0.75	2,700	2,743	359,216	2020/5/4
		DNB NOR BANK	3.875	2,100	2,273	297,710	2020/6/29
		EXPORT-IMPORT BK KOREA	2.0	800	828	108,477	2020/4/30
		GOLDMAN SACHS GROUP FRN	0.672	900	916	119,971	2021/7/27
		LLOYDS TSB BANK	6.5	1,600	1,781	233,214	2020/3/24
		NATIONAL AUSTRALIA B FRN	0.242	1,000	1,013	132,675	2021/4/19
		NATIONAL AUSTRALIA BANK	2.0	1,700	1,781	233,251	2020/11/12
		NATWEST MARKETS PLC FRN	0.103	500	501	65,659	2020/6/8
		NORDEA BANK AB	4.0	2,500	2,714	355,370	2020/6/29
		NYKREDIT FRN	0.243	660	664	86,965	2022/6/2
		NYKREDIT REALKREDIT AS	0.375	1,700	1,710	223,912	2020/6/16
		PKO BNK POLSKI (PKO FIN)	2.324	1,800	1,827	239,270	2019/1/23
		SANTANDER CONSUMER BANK	0.375	2,300	2,314	303,009	2020/2/17
SKANDINAVISKA ENSKIL FRN	0.272	1,000	1,010	132,351	2020/5/26		
SPAREBANK 1 SMN FRN	0.172	770	776	101,605	2020/11/9		
SPAREBANK 1 SR BANK	2.125	2,200	2,281	298,669	2020/2/3		
WELLS FARGO & CO FRN	0.172	1,000	1,004	131,520	2022/1/31		
合 計						5,454,562	

(注1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別			第189期末	
			買 建 額	売 建 額
外国	債券先物取引	ドイツ国債(2年)2018.6限月	百万円 —	百万円 3,662

(注1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド

運用状況のご報告

第16期 決算日 2018年2月19日

(計算期間：2017年2月21日～2018年2月19日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド」の第16期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行い、ユーロ短期金利水準に連動した安定的収益の確保を目指します。 2. 原則として、投資を行う公社債はBBB-／Baa3格以上の格付けを有するものとし、又、コマーシャル・ペーパー、譲渡性預金等については、A2／P2格以上の格付けを有するものとします。
主 要 運 用 対 象	国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等
組 入 制 限	外貨建資産への投資には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		騰落	期中率			
	円		%	%	%	百万円
12期(2014年2月18日)	15,156		12.7	97.0	△30.3	4,849
13期(2015年2月18日)	14,817	△	2.2	88.6	△	3,583
14期(2016年2月18日)	13,852	△	6.5	94.3	△	2,906
15期(2017年2月20日)	13,133	△	5.2	97.1	△	2,170
16期(2018年2月19日)	14,491		10.3	95.6	△63.9	5,782

(注1) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注2) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価額		債組入比率	債券先物比率	
		騰落	騰落率			
(期首) 2017年2月20日	円		%	%	%	
	13,133		—	97.1	△	3.7
2月末	13,049	△	0.6	97.6	△	3.8
3月末	13,125	△	0.1	98.0	△	8.4
4月末	13,247		0.9	97.3	△	8.6
5月末	13,586		3.4	101.4	△	8.7
6月末	14,027		6.8	97.2	△	8.1
7月末	14,226		8.3	92.3	△	25.0
8月末	14,407		9.7	96.7	△	30.1
9月末	14,563		10.9	89.0	△	40.4
10月末	14,454		10.1	76.8	△	39.7
11月末	14,561		10.9	94.1	△	56.0
12月末	14,782		12.6	92.5	△	60.3
2018年1月末	14,817		12.8	96.4	△	62.8
(期末) 2018年2月19日	円		%	%	%	
	14,491		10.3	95.6	△	63.9

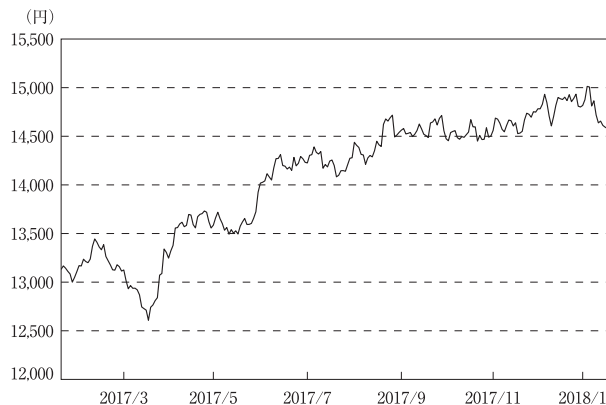
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2017年2月21日～2018年2月19日)



○基準価額の主な変動要因

当期末（2018年2月19日）のLM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド（以下、当ファンド）の基準価額は14,491円となりました。当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラス10.3%、基準価額は1,358円上昇しました。

公社債利金を手堅く確保しました。また、ユーロ・円相場がユーロ高・円安となったことから、為替損益もプラスとなりました。

当期の欧州債券市場は、利回りが上昇（価格は下落）しました。期の前半は、方向感の定まらない展開となりました。シリアや朝鮮半島情勢を巡る地政学リスクが高まり、安全資産としての債券が買われたことは、利回りの低下（価格は上昇）要因となりました。一方、混戦の様相を呈していたフランス大統領選が波乱なく終了し、欧州政治リスクの後退が意識されたことは、利回りの上昇要因となりました。期の半ばは、欧州中央銀行（ECB）による量的緩和政策縮小の時期が想定よりも早まるとの見方が市場で広がったことから、利回りは上昇しました。しかしその後は、北朝鮮情勢の緊迫化が意識され、安全資産とされる債券を買う動きが強まったことなどから、利回りは低下しました。期の後半は、スペイン・カタルーニャ自治州の独立問題を背景に安全資産とされる債券が買われ、利回りは低下しました。しかしその後は、ECBによる金融政策の正常化が進むとの観測が広がったことなどから、利回りは上昇しました。

社債セクターについては、欧米の株式相場が前期末に比べて上昇したことなどに支えられ、社債スプレッド（国債に対する上乗せ利回り）は縮小しました。資産担保証券（ABS）／モーゲージ証券（MBS）市場については、MBSセクターを中心にスプレッドが縮小しました。

当期のユーロ・円相場は、ユーロ高・円安となりました。期の前半は、シリアや朝鮮半島情勢を巡る地政学リスクの高まりにより、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、ユーロ売り・円買いが一時強まりました。しかしその後は、混戦の様相を呈していたフランス大統領選が波乱なく終了し、欧州政治リスクの後退が意識されたことなどから、ユーロ買い・円売りが優勢となりました。期の半ばは、ECBが想定よりも早く量的金融緩和の縮小を決めるとの思惑が広がったことなどから、ユーロは対円で上昇し、その後もECBによる緩和縮小観測などを背景にユーロ買い・円売り



が優勢となりました。期の後半は、スペイン・カタルーニャ自治州の独立問題を受けて欧州の政治リスクが意識され、ユーロは対円でやや上値の重い展開となりました。その後は、ECBによる量的緩和縮小の思惑を背景にユーロ買い・円売りが優勢となりましたが、米国株式相場の急落をきっかけとした世界的な株安を受けてリスク回避姿勢が強まると、ユーロ売り・円買いが優勢となりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として、ユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行い、ユーロ短期金利水準に連動した安定的収益の確保を目指した運用に努めてまいりました。また、原則としてBBB－／Baa3格以上の格付けの公社債へ投資し、ファンドに組入れる債券の平均格付をA－／A3格以上に保ち信用リスクの抑制を図る等、安定的な運用を目指しております。当ファンドの基準価額は、組入債券がユーロ建てで為替ヘッジを行わないため、ユーロ・円相場の変動の影響をそのまま反映しますが、ユーロベースの原資産は金利リスク（債券利回りの変動の影響を受けて、債券価格が変動するリスク）の低減に努め、安定性を重視した運用を行っております。当期の運用においては、引き続き高格付債券への投資比率を高位に保ちました。

○今後の運用方針

当ファンドは、主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行うファンドです。今後も引き続き、組入債券の信用リスク、金利リスクに配慮しつつ銘柄を厳選し、運用に注力していく所存です。

○1万口当たりの費用明細

(2017年2月21日～2018年2月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	円 1 (1)	% 0.005 (0.005)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	2 (2)	0.014 (0.014)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	3	0.019	
期中の平均基準価額は、14,070円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年2月21日～2018年2月19日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
			千ユーロ	千ユーロ
外 国	ユーロ			
	フランス	社債券(投資法人債券を含む)	3,066	280 (600)
	オランダ	社債券(投資法人債券を含む)	2,734	700 (1,000)
	ベルギー	社債券(投資法人債券を含む)	800	—
	フィンランド	社債券(投資法人債券を含む)	—	1,420
	アイルランド	社債券(投資法人債券を含む)	—	1,001
	その他	社債券(投資法人債券を含む)	29,679	6,745

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利息分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国	債券先物取引	百万円 -	百万円 -	百万円 8,295	百万円 4,689

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) 外国の取引金額は、各月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2017年2月21日～2018年2月19日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年2月19日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
フランス	2,110	2,785	367,951	6.4	—	—	0.9	5.4
オランダ	5,000	5,059	668,248	11.6	—	—	—	11.6
ベルギー	800	809	106,952	1.8	—	—	1.8	—
その他	31,930	33,197	4,384,709	75.8	—	—	54.3	21.5
合 計	39,840	41,852	5,527,860	95.6	—	—	57.1	38.5

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	柄	当 期 末				償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
ユーロ		%	千ユーロ	千ユーロ	千円		
フランス	普通社債券 (含む投資法人債券)	CREDIT AGRICOLE SA	—	1,700	2,371	313,209	2020/2/2
		RCI BANQUE SA FRN	0.321	410	414	54,741	2021/4/12
オランダ	普通社債券 (含む投資法人債券)	COOPERATIEVE RABOBANK UA	1.75	1,000	1,019	134,601	2019/1/22
		DAIMLER FINANCE FRN	0.271	1,900	1,917	253,243	2019/11/13
		ING BANK NV	1.25	500	513	67,759	2019/12/13
		SHELL INTL FIN FRN	0.071	1,600	1,609	212,644	2019/9/15
ベルギー	普通社債券 (含む投資法人債券)	KBC GROUP NV FRN	0.221	800	809	106,952	2022/11/24
その他	普通社債券 (含む投資法人債券)	ASB FINANCE LTD	0.5	1,700	1,717	226,882	2020/6/17
		AUST & NZ BANKING GROUP	5.125	2,100	2,262	298,802	2019/9/10
		BERKSHIRE HATHAWAY	0.5	2,200	2,226	294,028	2020/3/13
		COLGATE-PALMOLIVE CO FRN	—	700	702	92,808	2019/5/14
		DANSKE BANK A/S	0.75	2,700	2,749	363,127	2020/5/4
		DNB NOR BANK	3.875	2,100	2,295	303,224	2020/6/29
		EXPORT-IMPORT BK KOREA	2.0	800	831	109,822	2020/4/30
		GOLDMAN SACHS GROUP FRN	0.673	900	921	121,772	2021/7/27
		LLOYDS TSB BANK	6.5	1,600	1,811	239,288	2020/3/24
		NATIONAL AUSTRALIA B FRN	0.242	1,000	1,015	134,166	2021/4/19
		NATIONAL AUSTRALIA BANK	2.0	1,700	1,791	236,647	2020/11/12
		NORDEA BANK AB	4.0	2,500	2,740	361,938	2020/6/29
		NYKREDIT FRN	0.241	660	666	88,041	2022/6/2
		NYKREDIT REALKREDIT AS	0.375	1,700	1,714	226,478	2020/6/16
		PKO BNK POLSKI (PKO FIN)	2.324	1,800	1,837	242,739	2019/1/23
		ROYAL BK OF SCOTLAND FRN	0.104	500	503	66,443	2020/6/8
		SANTANDER CONSUMER BANK	0.375	2,300	2,316	305,943	2020/2/17
SKANDINAVISKA ENSKIL FRN	0.271	1,000	1,012	133,795	2020/5/26		
SPAREBANK 1 SMN FRN	0.171	770	776	102,607	2020/11/9		
SPAREBANK 1 SR BANK	2.125	2,200	2,293	302,980	2020/2/3		
WELLS FARGO & CO FRN	0.172	1,000	1,008	133,168	2022/1/31		
合 計					5,527,860		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

先物取引の銘柄別期末残高

銘柄	柄	別	当 期 末	
			買 建 額	売 建 額
外国	債券先物取引	ドイツ国債(2年)2018.3限月	百万円 —	百万円 3,694

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2018年2月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 5,527,860	% 95.6
コール・ローン等、その他	255,890	4.4
投資信託財産総額	5,783,750	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(5,654,623千円)の投資信託財産総額(5,783,750千円)に対する比率は97.8%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2月19日における邦貨換算レートは、1ユーロ=132.08円です。

○特定資産の価格等の調査

(2017年2月21日～2018年2月19日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年2月19日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	5,849,790,943
コール・ローン等	187,383,242
公社債(評価額)	5,527,860,765
未収入金	72,488,146
未収利息	25,882,721
前払費用	17,456,047
差入委託証拠金	18,720,022
(B) 負債	67,633,649
未払金	66,406,500
未払解約金	1,226,842
未払利息	307
(C) 純資産総額(A-B)	5,782,157,294
元本	3,990,277,534
次期繰越損益金	1,791,879,760
(D) 受益権総口数	3,990,277,534口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,491円

<注記事項>

(注1) 元本の状況

期首元本額	1,652,757,654円
期中追加設定元本額	5,073,125,396円
期中一部解約元本額	2,735,605,516円

(注2) 期末における元本の内訳

L.M・ユーロ毎月分配型ファンド	3,873,784,690円
L.M・ユーロ短期債ファンドVA (適格機関投資家専用)	116,492,844円

○損益の状況 (2017年2月21日～2018年2月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	28,502,970
受取利息	28,569,701
支払利息	△ 66,731
(B) 有価証券売買損益	194,284,430
売買益	236,260,794
売買損	△ 41,976,364
(C) 先物取引等取引損益	5,358,440
取引益	7,579,880
取引損	△ 2,221,440
(D) 保管費用等	△ 492,587
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	227,653,253
(F) 前期繰越損益金	517,745,473
(G) 追加信託差損益金	2,292,876,312
(H) 解約差損益金	△1,246,395,278
(I) 計(E+F+G+H)	1,791,879,760
次期繰越損益金(I)	1,791,879,760

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。